

**システム実証結果を踏まえた
青果物トレーサビリティの取組と
通い容器事業の対応**

J A 鹿児島県経済連

野菜振興課

取違 正人

青果物のトレーサビリティ・品質管理システム



事業名 輸入急増農作物対応特別対策事業
 事業費 17,380千円
 稼働日 平成15年11月(予定)
 内容 ①生産履歴をタイムリーに記録し、技術者が管理できるシステム。
 ②ロット単位での生産管理状況を情報開示できるシステム。
 ③生産履歴と流通履歴を小売店舗で情報開示できるシステム(モデル事業)

土壌・栄養・残留農薬分析

- 食品総合研究所
- 土壌分析センター
- エーザイ生科研(ミネラルバランス栽培)

情報公開

- 生産部会と代表者の紹介
- 部会の品質管理システムの紹介
- 商品の紹介
- 生育画像報告(毎月20日)
- 栽培基準表の公開
(生産履歴はトレーサビリティセンターへ保管)

安心・安全マスター管理(基準)

県・経済連

ばれいしょ・そらまめ・デコポン・ソリダゴなどの品目毎の使用資材のマスター管理
 ① 堆肥・土壌消毒・土壌改良剤
 ② 肥料
 ③ 農薬

技術者

- ① 地域栽培基準の策定
- ② 農家毎の栽培圃場のマスター管理

生産者

- < 組織 >
 ① 品質と安全を確保します。
 ② 生産履歴を記録します。
 ③ 環境に配慮します。
- < 生産活動 >
 ① 栽培基準を遵守します。
 ② 健全な種子を使用します。
 ③ 用水の水質検査結果を知っています。
 ④ 圃場毎に作業内容を記録しています。
 ⑤ バランスの良い土づくりを目指します。
 ⑥ 施肥などの資材リストを管理します。
 ⑦ 防除は法を遵守します。
 ⑧ 収穫量を記録しています。
 ⑨ 収穫後の管理は衛生面に配慮しています。
 ⑩ 土壌分析を実施しています。
 ⑪ 栽培管理記録の資料は公開できます。
 ⑫ 農作業は安全で健康に配慮しています。

品目・資材マスター

圃場マスター

生産履歴(契約)マスター

生産履歴の記録・送信



データのフィードバック
(7日・10日・30日)

生産管理チェック・データ活用

- 栽培・資材のチェック
- 肥料・農薬の資材予約
- 出荷予測
- 農家の経営改善
- 販売のリスク管理

ロット単位トレーサ

ホームページ

個選トレーサ

トラッキング(追跡)

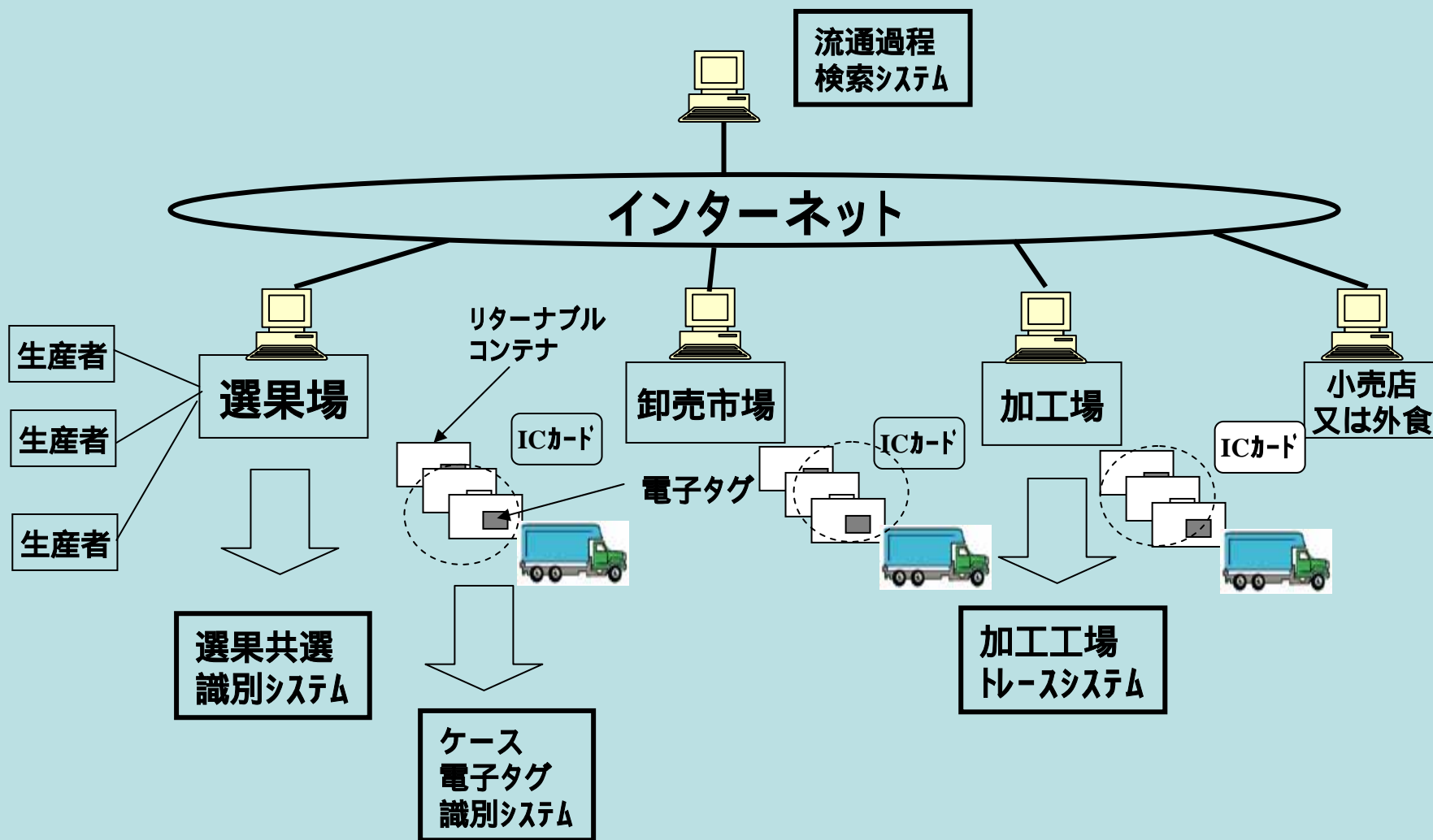


トレースバック(溯及)



第三者機関による監査(検討中)・JAグループかごしまエコ農作物認証制度

生産から流通、加工、小売までの一貫したトレーサビリティシステムの実現



東急ストアでの実証状況



平成15年度実証事業の概要・成果・課題

1. 実証内容

- 1) 生産者が生産履歴をタイムリーに記録でき
技術者が管理できること
- 2) ロット単位での生産管理状況を情報開示で
きること
- 3) 生産履歴と流通履歴情報を小売店舗で情
報開示できること

2. 実証JA・品目・青果市場・量販店

- 1) JAそお鹿児島: ナス(2戸)・ピーマン(2戸)
- 2) 横浜丸中青果(株) 栽培ネット 東急ストア

成果

- 1) 市場からの遠距離産地である本県産地でも生産・流通トータルのトレーサビリティーの実証ができた。
- 2) 生産履歴のリアルタイム入力・診断・管理ができた。
- 3) 共販青果物用のトレーサビリティーシステムの構築ができた(ロット単位)。
- 4) 店頭での品質評価が高く、公開情報についてのお客様のアクセスも確認できた。

課題

- 1) 生産・流通・情報公開の各段階で、インフラ整備が必要で、面的な拡大は無理？
- 2) ICカードによるロット管理・情報伝達では、容量も小さく、個体管理に労力。完全な個体管理はICタグを活用したシステム整備でしか不可能。

本システムの積極的な面的な導入・普及には時間を要すると判断。

その後の対応

1. 生産履歴：生産履歴記帳の紙ベースでの徹底と保存を全県で申し合わせ、問い合わせ時の情報検索・提示で対応可能。

特裁等認証品目は、生産履歴管理システム「西郷りれきくん」で管理：生産者数3500名
農薬・化学肥料使用実績チェック、代行入力

2. 流通履歴：消費地や販売先からの強い要請もない中で、とりあえず、様子見。

3. 情報公開：QRコードによる産地情報の発信
産地・生産者・栽培基準・商品特性の紹介

QRコードによる産地情報の発信



品 目 はくさい

生産者

鹿児島県曾於郡大隅町月野

J A そお鹿児島

担当者: _____

J A鹿児島県経済連 通いコンテナセンター TEL 099-210-2112 URL <http://www.oidonkun.com/kayocon>

※このコンテナカードは再利用しますので、売り場等での表示以外はコンテナとともに返却願います。

通い
コンテナ
センター



QRコード

新たな状況への対応

ポジティブリスト制度施行への対応

1. 面的に運用できる**生産管理システム**の導入
 - 1) OCRによる自動読み取り・内容チェック・判定
 - 2) 営農支援のためのデータ蓄積と活用
 - 3) 毎月帳票回収・データ読み取り
2. **個体管理手法**の検討
 - 1) 最低限、段ボール・コンテナまでの個体管理
 - 2) ただし、完全な個体管理は**ICタグ**の普及必要

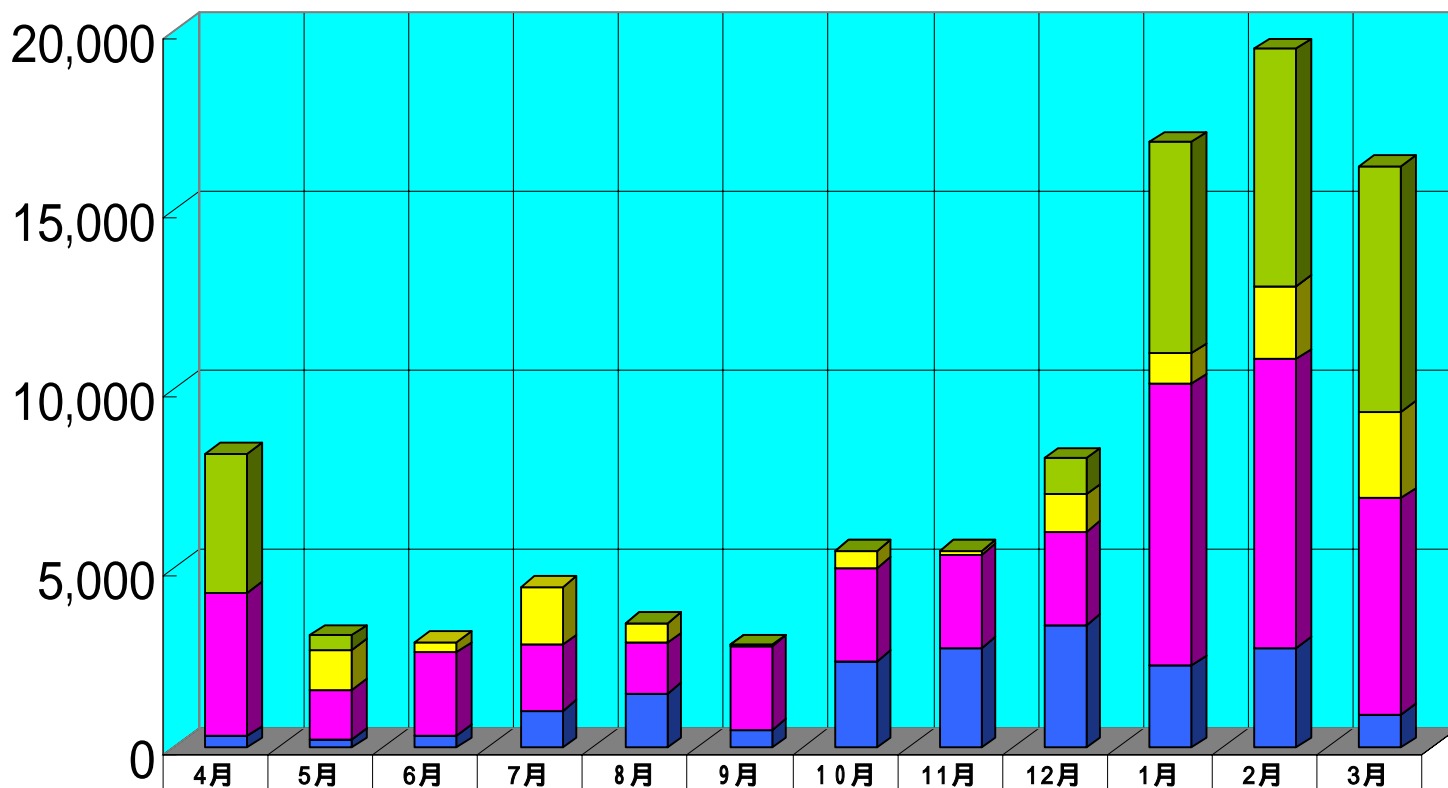
通い容器事業の概要と成果・課題



通いコンテナ貸出利用実績

1. 平成16年度実績(4月1日～17年3月末)

大コンテナ	中コンテナ	小コンテナ	ラック	合計
11,711	42,808	10,488	24,615	96,422

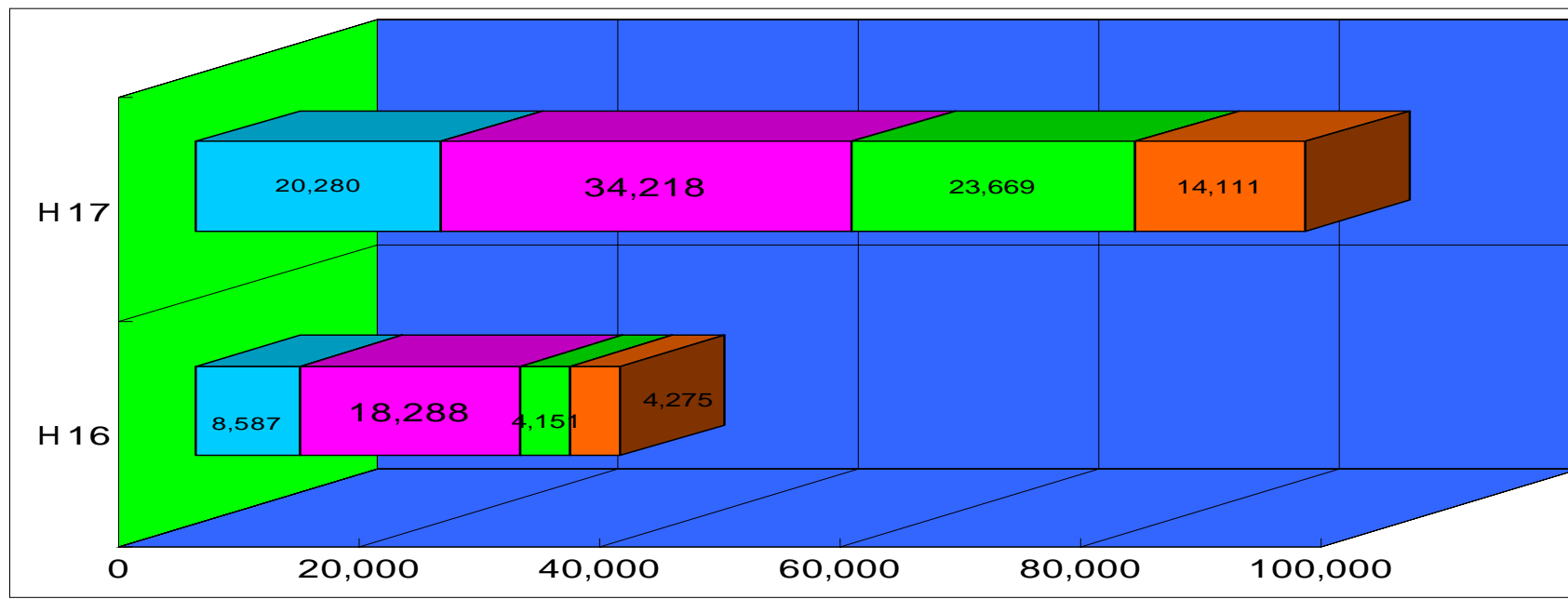


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■ラック	3,875	400			0	0	0	0	1,000	5,900	6,600	6,840
■小	20	1,110	280	1,601	550	20	470	100	1,030	841	2,046	2,420
■中	4,002	1,371	2,323	1,852	1,410	2,330	2,600	2,600	2,600	7,864	8,035	6,021
■大	310	250	320	1,010	1,505	505	2,412	2,780	3,429	2,270	2,790	930

2. 平成17年 11月末コンテナ貸出利用実績

	合計	大コンテナ	中コンテナ	小コンテナ	ラック
H17年	92,278	20,280	34,218	23,669	14,111
H16年	35,806	9,092	18,288	4,151	4,275
対比	257.7%	223.0%	187.1%	570.2%	330.1%

17年16年貸出し実績比較表(4月～11月末)



3. 利用JAと買参人数

1. 利用JA数の推移

平成16年度	平成17年度	
JAかごしま(アグリタウン小山田)	JAかごしま(アグリタウン小山田)	JA鹿児島中央
JA谷山	JA谷山	JA伊佐
JAいぶすき	JAいぶすき	JAくまげ
JA南さつま	JA南さつま	JA天城町
JAさつま日置	JAさつま日置	JA知名町
JAさつま川内	JAさつま川内	JA徳之島
JAさつま	JAさつま	
JA鹿児島いずみ	JA鹿児島いずみ	新規産地
鹿児島いずみ協同食品	鹿児島いずみ協同食品	
JAあいら	JAあいら	
JAそお鹿児島	JAそお鹿児島	
JA鹿児島きもつき	JA鹿児島きもつき	
JA肝付吾平町	JA肝付吾平町	
鹿児島くみあい食品	鹿児島くみあい食品	
14JA	20JA(新規6JA)	

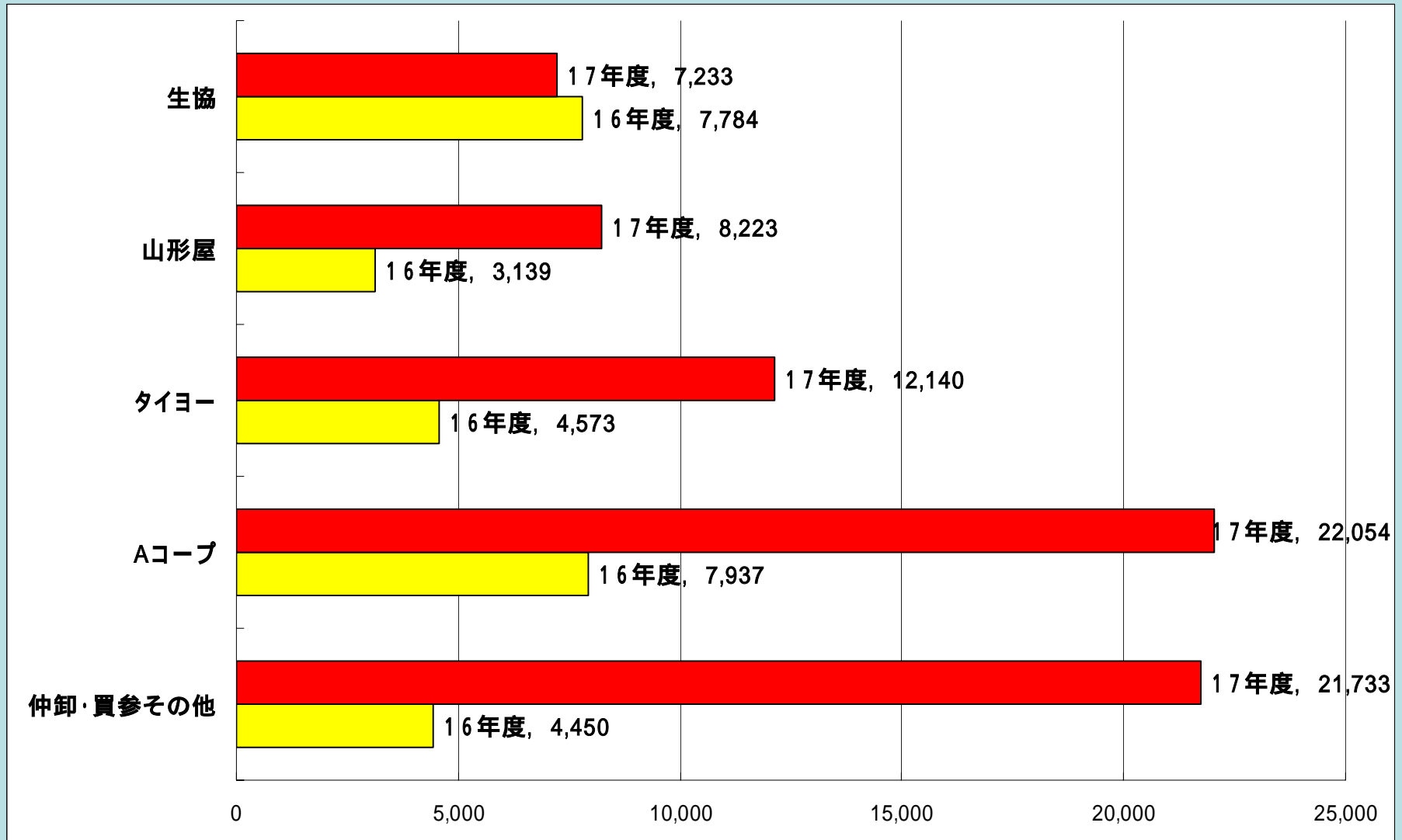
2. 量販店・仲卸・買参人の推移

平成16年度	平成17年度
82	125

4. 取扱い品目ベスト10(17年対比)

品目	16年度 11月末	17年度 11月末	伸び率	利用コンテナ
いちご	4,569	8,175	179%	(中)コンテナ
こまつな	7,773	7,329	94%	(中)コンテナ
早生温州みかん	362	7,264	2007%	(小)コンテナ
ゴーヤー	1,977	6,864	347%	(小)コンテナ
えだまめ	0	6,458	#DIV/0!	(大)コンテナ
実えんどう	2	5,805	290250%	(大)コンテナ
きゅうり	6	5,712	95200%	(小)コンテナ
ミズナ	5,765	4,778	83%	(中)コンテナ
チンゲンサイ	3,593	3,849	107%	(中)コンテナ
だいこん	649	2,674	412%	(中)コンテナ

5.主力取引先別利用実績(11月末比較)



11月末現在コンテナ回収率

平成16年度11月末

	出荷数	返却数	返却率
(大)	3,597	3,313	92.1%
(中)	22,014	21,517	97.7%
(小)	3,267	3,079	94.2%
ラック	11,072	11,022	99.5%
合計	39,950	38,931	96.8%

平成17年度11月末

	出荷数	返却数	返却率
(大)	28,196	27,859	98.8%
(中)	73,769	72,868	98.8%
(小)	31,909	31,260	98.0%
ラック	43,330	43,324	99.99%
合計	177,204	175,311	98.9%

今後の利用拡大対策

1. 白ねぎ利用促進

2. 白菜利用促進

3. イチゴ利用促進

4. 柑橘類利用促進

オタフクソースとの「白ねぎ」コラボレーション



通いコンテナ小を使ったオタフクソースとの販売促進

店舗でのコンテナ使用状況



• 軟弱野菜



• きゅうり



• ゴーヤ



• 白ねぎ

ご静聴ありがとうございました。